

ぴっくす

まちの話題



『手づくりそばでおもてなし』

1月18日(日)、籠谷集落の青壮年部では、日ごろお世話になっている、女性や年配の方などに何か恩返しをしたいということで、手づくりのそばを振る舞いました。今年初の試みで、前日までみなさんには内緒しておいたそうです。



そば粉は地元で収穫したものをを使い、つゆは黒鯛や昆布、しいたけなどでダシを取り、そば打ちまで全て男性だけで作りました。

招かれたみなさんは、このおもてなしにたいへん喜び、おいしそうに食べていました。

青壮年部の春田範雄さんは、「来年もまた実施しますが、今度は違ったことに挑戦しようと思っています。」と楽しそうに話してくださいました。

『老人クラブが雑巾を寄付』

1月27日、大崎町老人クラブ連合会(会長：三浦義雄さん)が、町内の学校や福祉施設に、雑巾ぞうきんの寄付をしました。

これは、大崎町老人クラブ連合会女性部が、毎年行っている『一人一枚雑巾運動』のボランティア活動の一環で、今年は、集まった雑巾729枚を寄付しました。

寄付先は、町内の各小中学校と回生園、サンセリテのがた、社会福祉協議会の13か所でした。

毎日使う雑巾なので、みなさんにたいへん喜ばれたようです。



『大崎小学校で学習発表会』

2月14日(土)、大崎小学校の6年生による学習発表会が大崎町中央公民館であり、約70名の児童が日ごろの練習の成果を発表しました。

リーコーダー演奏や合唱、ソーラン節などを披露し、小学校生活最後の舞台発表となった児童たちに、会場へ訪れたお父さんやお母さんたちからは大きな拍手と歓声が沸いていました。

子ども達にとっては、いい思い出となったことでしょう。